

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オンライン砺波A		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	視覚スケジュールを用いた無意識の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚カードを用い、健康や生活に関する活動を習慣化している。 ・児童発達支援からつづく緩やかな小学校生活への適応を意識し、しなければならないことが「無意識」のうちに、「順番」にできるように取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の設定や達成度をしっかりと把握できるように、支援記録の取り方を改善する。 ・きめ細やかなアセスメントにより課題をスモールステップで最適に設定し、達成感をもって活動に取り組めるように支援する。
2	学習への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚スケジュール等を活用しながら、宿題を習慣化している。 ・タブレット学習を用い、児童に応じたレベルの基礎学習をしている。 ・ご褒美を設けながら達成度を実感し、子ども自身が達成感をもって楽しみながら学習を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚スケジュールをさらにわかりやすく改善する。
3	独自の楽しい活動や遊びの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中でもタブレットを使用し、子どもたちが興味をもっているものを時間を守って取り組めるようにしている。 ・曜日ごとに遊びを設定し、無理のない程度に様々な活動に参加する機会をつくっている。 ・少人数の集団活動の日をもうけ、自分の好きな活動を楽しみながら、ルールを守ることや感情のコントロール、コミュニケーションの力を育てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち発信の遊びも、できる範囲で活動の中に取り入れるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	臨機応変な対応や柔軟性をはぐむ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール化がすすみ、突発的な変更やいつもと違う活動をする機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の大枠は決まっているが、その中での選択の自由を保障していく。 ・各曜日の活動は決めてあるが参加は自由とし、意思決定を重視していく。
2	家族支援・きょうだい支援	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日に決まったイベントを開催している為、それ以外の時間での予定の擦り合わせなどが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝のイベントで保護者同士がコミュニケーションをはかる機会を作っていく。 ・同時に兄弟の参加も募集し、兄弟同士でのコミュニケーションの場も広げていく。 ・家庭での支援に役立つような情報を伝えていく。 ・ラインなどでの相談には個別に対応していく。
3	他機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議に参加しているが、当施設からの発信がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の協議会などに参加する。 ・これまでより一層、学校や他の事業所と情報交換をする。 ・気になるお子さんがおられたら、相談支援員と連絡しながら積極的に連携を求めていく。